

2025 KTM 390 CUP 競技規則

総則

KTM390CUPは、2025 MFJ国内競技規則および筑波ツーリスト・トロフィー特別規則に基づき、下記の各項に沿って開催される。

また、READY TO RACEの理念に則り、KTM製モデルのユーザーが「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しめる」ことを目的とするものである。

1. 開催クラス

KTM 390 CUP（参加可能車両 RC390、390DUKE、※新モデルについては適宜更新）

- ①カスタムエキスパート
- ②カスタムチャレンジ
- ③ノーマルファン

※参加可能モデルについて

- ①2013年以降に製造された、KTM 390DUKE、RC390。但し、RC CUP車での参戦は不可。
- ②Husqvarna SVARTPILEN401 / VITPILEN401での参加を認める。
（DUKEシリーズとエンジン、フレーム共有車両の為。）
- ③新型モデルが追加された場合や、実際の走行性能に大きな差が生じた場合は年度の途中でもハンデを設ける場合がある。

2. 開催日・会場

- 4/ 5 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in APRIL）
- 7/19 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in JULY）
- 11/15 筑波サーキット（筑波ツーリスト・トロフィー in NOVEMBER）

3. 参加資格

(1)MFJロードレース フレッシュマン、国内、国際、いずれかのライセンス所持者。

クラス	MFJライセンス区分
カスタムエキスパート	国際・国内・フレッシュマン
カスタムチャレンジ	国内・フレッシュマン
ノーマルファン	国内・フレッシュマン

(2)各開催クラスには、以下の参加基準タイムを設定する。参加基準タイムは、2022年以降に筑波サーキットで開催された、KTMカップにおける各ライダーの実績タイムが適用されます。

- 390カスタムエキスパートクラス : 1分06秒999以下
- 390カスタムチャレンジクラス : 1分07秒000以上
- 390ノーマルファンクラス : 1分09秒000以上

予選・決勝を通じ基準タイムを上回った場合、次戦以降下記クラスへの参加とする。

- ・チャレンジクラス → エキスパートクラス
- ・ノーマルファンクラス → チャレンジクラス

(3)誤った申請が確認された場合は、参加受理書の発送以降であっても、当該クラスへ変更される。

4. 参加方法

筑波サーキットが定める申込期間内にサーキット事務局へ参加を申し込む。参加料はサーキットの規定による。

5. 車両規則

(1)基本仕様

筑波ツーリスト・トロフィーが定める大会特別規則および共通車両規定に準拠する。ただし、下記の事項については適用外とするが、飛散防止処置および脱落防止処置が完全になされていること。

- ・ヘッドライト／テールライト／ウインカー／リフレクター／セーフティーバーの取り外し。
(ライト点灯状態での走行は不可)
- ・同乗者用フットレスト／グラブレールの取り外し。
- ・ホーンの取り外し。(ホーンは鳴らない状態とすること)

※タイヤ及びエンジンオイルの銘柄に指定はないが、純正指定オイルMOTOREX社製オイルの使用を推奨する。

《下記には処置、装着が特に必要な項目を列挙する》

- ①全てのドレーンプラグはワイヤーロックが必要。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルパンに進入するものについても、全て安全にワイヤーロックされていなければならない。オイル供給ホースは、完全ノーマル状態で差し支えないが、金属製のホースバンドで確実に固定し、ホースジョイントはフレア加工(抜け止め)の施してあるものの使用が望ましい。

※車両または当該部品の構造上、ワイヤーロックが不可能な場合に限って、液体漏れがないよう規定トルクで締め付けられている場合を例外とする。例:RC390のフロントフォークオイルドレンボルト

- ②クローズドブリーザーシステムには一切の加工・変更・取り外しをしてはならない。ただし、エアフィルターなどの該当機種専用のKTMパワーパーツの使用は認められる。エアクリーナーボックスの下部に排出穴が開いている場合は、オイルが受けられるように塞がれていること。
- ③アンダートレイが装着されていること。エンジンオイルや冷却水が漏れた際に路面にこぼさず受け止められる物で、かつ、コーナーリング中のバンク角度も各サーキットの基本仕様に準拠したバンク角が確保されていること。

(2)改造範囲

A.ノーマルファンクラス

完全ノーマル車であること。スプロケット、チェーンの交換およびKTM純正パワーパーツのスリップオンマフラー、バックステップキット、レバー類、レバーガード、シート、各所アルマイトカバーに限り、交換を認める。

また、車両保護及び液体漏れ防止を目的とした、ハンドルストッパー、クラッシュパッドやプロテクティブコーン(エンジンスライダー)の装着は認められるが、クラッシュバーの使用は認められない。スプロケットガード、エンジンケースカバーなどについては、筑波ツーリスト・トロフィー共通車両規定に準ずる。

B.カスタムクラス ※エキスパート、チャレンジ共通

下記以降に示されている項目以外の改造・変更はできない(主として改造可能項目を記す)。

●エンジンおよび補機

- ①インジェクションシステム(スロットルボディ、インジェクター、センサー)は車両出荷時のものとするが、セッティングの変更ならびに後付サブコンピューター(コントローラー)の取り付けが認められる。CPUはKTM純正に限る。
- ②クローズドブリーザーシステムについては、基本仕様に準拠する。
- ③スパークプラグ、プラグキャップ、プラグコードの改造・変更は可。
- ④スロットルワイヤー、スロットルホルダー部(ラバーR・L含む)の改造・変更およびハイスロットルへの変更は可。
- ⑤クランクケースカバー(R・L)の改造・変更・追加は不可。
- ⑥オイルクーラーおよび関連部品の改造・変更ならびに着脱は不可。
- ⑦ラジエーター本体の加工、変更は不可。ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更ならびに着脱は可。

⑧排気量の変更は認められない。

●フレーム

ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加は可。フレーム及び付随するステーの切断は不可。

●フロントサスペンション

エア－加圧、オイル・スプリングの変更、内部構造変更・改造は可。イニシャルアジャスターの取り付けが認められるが、十分安全に配慮すること。

●リアサスペンション

車体に一切の追加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの変更、スプリングの交換及び車高調整を目的としたパーツ(リンク含む)の取り付けは可。改造・加工は一切禁止する。

●ステアリングステム、トップブリッジ

ステアリングステム、トップブリッジ等ステアリング関連部品の変更は可。必要でないステー類のカットは可。ダストシールの取り外しは可。スタビライザーでの補強は可。

●スイングアーム

車体に一切の加工なしに取り付けることが可能なアフターパーツへの交換は可。長さについてチェーンアジャスターの調整範囲を超えるホイールベースの変更は不可。

●ステアリングダンパーの取付けは可。但しステアリングストッパーとの兼用は不可。

●スプロケット、ドライブチェーン ファイナルレシオの変更は可(チェーンサイズ含む)。

●ハンドルバー 改造・変更は可。

●メーター類 改造・変更および取り外しは可(ケーブルを含む)。

●カウリング 着脱ならびに改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●シート、シートカウル

改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。
サイドカバー(390DUKE)の取り外しは不可。

●フェンダー

フロント、リア共改造・変更は可。ただしスタンダード車のシルエットからの大きな変更は不可。

●ブレーキ

フロント、リア共ブレーキの変更が認められる。この項目で示すブレーキとは、入力部分(レバー、ペダル)からキャリパー(パッド、ライニング含む)までの構成部品、およびブレーキディスクまでを指す。

●ワイヤーハーネス

改造・変更は可。

●バッテリー

改造・変更および取り外しは可。

●リミッター装置(イグナイターを含む)

改造・変更および取り外し可。

●ステップ

改造・変更は可。

●排気管

音量規定値以内のものに変更可。

●タイヤ

一般市販されていて通常のルートで購入できる溝付きオンロードタイヤのみ使用可。スリックタイヤ(インターミディエイトを含む)および、摩耗限度を超えた物、グルーピング・カッティングを施した物の使用は禁止される。但し、ウエット時に限りレーシングレインタイヤの使用が認められる。

●ホイール

変更が認められる。ホイール変更に伴うカラーの改造・変更およびキャリパーサポートの追加が認められる。

●互換性

同メーカーの車両及び参加可能モデル間において、一切の追加工無しで組み付け可能な単品、結合部品の交換は認められる。但し、コンペティションモデルの部品の使用は禁止される。
この項目は、改造範囲で認められていない場合にも適用となる

6. その他

- ①本大会に参加を希望する者は大会の主旨「初心者でも手軽に、安全にレースを楽しめることを目的」に賛同することを前提に、主催者が「危険な行為」と判断した事例には毅然たる罰則を与える。
- ②車両規則の問い合わせについては、筑波サーキットに一元化する。

一般財団法人日本オートスポーツセンター/筑波サーキット

筑波ツーリスト・トロフィー大会事務局

〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙 159

TEL:0296-44-3146/FAX:0296-43-1115